

私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

商業科 「財務会計Ⅰ（２年商業科会計型）」	単位数	2単位	学科	商業科
	学年	2	組	K

1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	①財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させる。 ②会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。
-------	---

育成する資質能力	「向上心」「自律」「思考力」「判断力」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評価の 内容	会計の基礎的・基本的な考え方と技術、財務諸表の作成、その財務諸表の活用を理解する。	企業会計に関する諸問題の解決を目指して、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し、表現する能力を身に付ける。	企業会計の意味・役割や制度、財務会計の機能、諸表の作成、財務諸表からの情報を活用することなどに興味を持ち、財務会計の学習に積極的に取り組もうとしている。
評価 方法	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題提出（ワーク、プリント） 授業への取り組み 振り返りシート
配分	80%	10%	10%

2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、 他教科との関連など）
第 1 学 期	①日商簿記検定 3 級全範囲復習 ②財務会計の基礎 1. 企業と企業会計 2. 企業会計制度と会計基準 3. 企業会計の歴史 ③資産 1. 流動資産（当座・棚卸・その他の流動資産） 2. 固定資産（有形・無形と減価償却、投資その他の資産） 3. 負債と純資産 4. 貸借対照表（報告式）	①日商 3 級の確認をしながら、全商簿記検定 1 級および日商簿記検定 2 級商業簿記分野への理解を深めていきます。 ②企業会計の意味とその目的および役立ちを理解し、財務会計と管理会計の違い及び財務会計の機能を理解します。また、会社法と会社計算規則、金融取引法と財務諸表と規則、法人税法の内容とその必要性を理解します。 ③資産・負債・純資産の意味と分類を理解し、評価の基礎知識を学び、評価の重要性を理解し、それぞれの	①日商簿記検定 3 級未取得者は 5 月までに全員取得を目指します。

		意味と種類を明らかにします。また、これまで学んだ内容を活用し、報告式貸借対照表の作成手順を理解し、作成できる力を身につけさせます。	
第2学期	損益計算書について 1. 損益計算の意味と基準 2. 営業損益の計算 3. 経常損益の計算 4. 当期純利益の計算 5. 報告式損益計算書の作成 その他財務諸表の作成連結財務諸表 1. 連結財務諸表の作成（その1） 2. 連結財務諸表の作成（その2） 財務諸表の活用	・損益計算書を作成するために必要な分類や計算方法、また会計に関する法に対する理解を問題集や演習プリントを通じて理解を深めていきます。 ・財務諸表分析の意味や方法、分析（収益性・安全性・成長性など）、構成比率、趨勢法の分析手順を理解し、財務諸表分析を実際に実施します。	希望者は11月実施の日商簿記検定2級（統一試験）に挑戦することができます。
第3学期	日商簿記検定2級商業簿記分野演習 全商簿記検定1級会計演習	・検定模擬問題を演習形式で解いていくことによって、1年間の総復習をしていきます。 ・検定試験の学習と受験をすることで、計画性や自ら学ぶ姿勢などを育成していきます。	・1月実施の全商簿記検定1級会計に挑戦していきます。 ・2月（統一）、3月（団体）の日商簿記検定に挑戦していきます。

使用教科書	実教出版『高校財務会計Ⅰ』
副教材	実教出版『最新段階式 簿記検定問題集 全商1級 会計』 実教出版『令和7年度版全商簿記検定模擬試験問題集 1級会計』 実教出版『最新段階式 日商簿記検定問題集 2級商業簿記』

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・毎授業の復習はその日のうちに必ず行ってください。 ・小テストなどの範囲は事前に告知しますので、しっかりと勉強をしておいてください。 ・検定試験などの日程から逆算して計画的に学習に取り組んでいきましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・授業開始前に問題集、電卓、ipad、筆記用具の準備を行ってください。 ・小テストはもちろん、ワークやプリントなども評価の対象となります。しっかりと取り組んでいきましょう。 ・検定試験においては積極的に挑戦していきましょう。 ・授業時間外補習が実施される時期があります。事前に日程は告知しますので、自分のスケジュール管理をしっかりと行っていきましょう。
その他のアドバイス	・この科目に限らず、商業科で取得できる検定試験は積極的に挑戦をして上位級を目指してください。